



株式会社乗馬クラブクレイン presents  
総合馬術ホーストライアルシリーズ 2023 (9月)  
(日本馬術連盟公認総合馬術競技会)  
実施要項

1. 主催: NPO 法人 Japan Eventing
2. 運営: NPO 法人 Japan Eventing
3. 会場: 三木ホースランドパーク  
〒673-0045 兵庫県三木市別所町高木
4. 日程: 令和5年9月30日(土)～10月1日(日)
5. 規程: 国際馬術連盟総合馬術競技会規程  
日本馬術連盟競技会関連規程  
ホーストライアルルール(別紙①)2023年より変更あり  
RRC総合馬術実施要項(別紙②)※SS賞追記
6. 競技種目: 総合馬術競技: EV100(公認), EV90(公認), EV80(公認), EV80(非公認)  
RRC総合馬術競技(非公認)
  - ・障害飛越競技(非公認): 110cm, 120cm, 130cm メインアリーナ
  - ・トレーニングクラス(非公認): 100cm, 80cm, クロス障害 インドアアリーナ  
※トレーニングクラスは、乗馬インストラクターが新馬および若馬のトレーニングを趣旨としております。ハンターシートでの競技となります。
  - ・ビギナーズカップ(非公認): 100cm, 80cm, クロス障害 インドアアリーナ  
※アマチュアライダーのみ参加とする。  
上記以外の方の参加はオープンの扱いとなります。
  - ・キッズカップ(非公認): 60cm インドアアリーナ  
※高校3年生以下のみ参加可とする。  
上記以外の方の参加はオープンの扱いとなります。
  - ・ジムカーナ 競技: クロスバー含む インドアアリーナ

- ・馬場馬術競技：JEF 第 5 課目 A 2022 (非公認), インドアアリーナ
- ・FEI 自由演技ヤングライダー馬場馬術課目 2006 (2009 年 改定 ・  
2022 年 更新版 ) (非公認)
- ・ JEF 第 3 課目 A 2022 (非公認)
  
- ・ FEI 総合馬術競技 1 スター課目 2021 (非公認) メインアリーナ

・ 第 1 競技 EV100 競技(公認)

馬場馬術競技	JEF 総合馬術 上級課目 2020
クロスカントリー競技	全長 2,000～2,500m 最大分速 500m 飛越数 20～25 個以内 高さ 固定障害 1.00m 以内 ブラシ障害 1.20m 以内 幅 最も高い部分 1.15m 以内 土台 1.80m 以内 高さのない障害 2.40m 以内 飛び降り 1.40m 以内
障害飛越競技	全長 350m～400m 分速 350m 障害数 10～11 個 (12 飛越以内) 高さ 1.05m 以内 幅 1.20m 以内 土台/三段横木 1.40m 以内

・第2競技 EV90 競技(公認)

馬場馬術競技	JEF 総合馬術 中級課目 2020
クロスカントリー競技	全長 1,800~2,300m 最大分速 450m 飛越数 17 ~22 個以内 高さ 固定障害 0.90m 以内 ブラシ障害 1.10m 以内 幅 最も高い部分 1.10m 以内 土台 1.50m 以内 高さのない障害 2.00m 以内 飛び降り 1.20m 以内
障害飛越競技	全長 350m~400m 分速 350m 障害数 9~10 個 (12 飛越以内) 高さ 1.00m 以内 幅 1.15m 以内 土台/三段横木 1.35m 以内

・第3競技 EV80 競技(公認)

馬場馬術競技	JEF 総合馬術 初級課目 2020 A
クロスカントリー競技	全長 1,500~2,000m 最大分速 400m 飛越数 15 ~20 個以内 高さ 固定障害 0.80m 以内 ブラシ障害 1.00m 以内 幅 最も高い部分 1.05m 以内 土台 1.20m 以内 高さのない障害 1.60m 以内 飛び降り 1.00m 以内
障害飛越競技	全長 350m~400m 分速 350m 障害数 9~10 個 (12 飛越以内) 高さ 0.90m 以内 幅 1.10m 以内 土台/三段横木 1.30m 以内

・第4競技 EV80 競技(非公認)

馬場馬術競技	実施せず
クロスカントリー競技	全長 1,500~2,000m 最大分速 400m 飛越数 15 ~20 個以内 高さ 固定障害 0.80m 以内 ブラシ障害 1.00m 以内 幅 最も高い部分 1.05m 以内 土台 1.20m 以内 高さのない障害 1.60m 以内 飛び降り 1.00m 以内
障害飛越競技	全長 350m~400m 分速 350m 障害数 9~10 個 (12 飛越以内) 高さ 0.90m 以内 幅 1.10m 以内 土台/三段横木 1.30m 以内

・第5競技 RRC総合馬術競技(非公認)

馬場馬術競技	NRCA総合馬術課目 2 0 2 3
クロスカントリー競技	全長~1,500m 最大分速 400m 飛越数 15~20 個 以内 高さ 固定障害 0.60m 以内 ブラシ障害 0.80m 以内 幅 最も高い部分 1.00m 以内 土台 1.10m 以内 高さのない障害 0.80m 以内 飛び降り 0.80m 以内
障害飛越競技	全長 350m~400m 分速 350m 障害数 10~11個 (12 飛越以内) 高さ 0.85m 以内 幅 1.05m 以内 土台/三段横木 1.25m 以内



9月30日(土) 障害飛越競技

第6競技～8競技はメインアリーナにて実施

第9競技～15競技はインドアアリーナにて実施 (馬場馬術競技終了後実施)

・第6競技 Japan Eventing 障害飛越競技 (非公認) 130cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 350m H130cm W150cm 以内 障害数 11 個以内

・第7競技 Japan Eventing 障害飛越競技 (非公認) 120cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 350m H120cm W140cm 以内 障害数 11 個以内

・第8競技 Japan Eventing 障害飛越競技 (非公認) 110cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 350m H110cm W130cm 以内 障害数 11 個以内

第9競技 Japan Eventing トレーニングカップ障害飛越競技 (非公認) 100cm ハンターシート

分速 350m H100cm W120cm 以内 障害数 10 個以内

・第10競技 Japan Eventing ビギナーズカップ障害飛越競技 (非公認) 100cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 350m H100cm W120cm 以内 障害数 10 個以内

・第11競技 Japan Eventing トレーニングカップ障害飛越競技 (非公認) 80cm

ハンターシート

分速 325m H80cm W100cm 以内 障害数 9 個以内

・第12競技 Japan Eventing ビギナーズカップ障害飛越競技 (非公認) 80cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 325m H80cm W100cm 以内 障害数 9 個以内

・第13競技 Japan Eventing キッズカップ障害飛越競技 (非公認) 60cm

基準表 A 238 条 2.1

分速 325m H60cm W80cm 以内 障害数 8 個以内

・第14競技 Japan Eventing ビギナーズカップ障害飛越競技 (非公認) クロス障害 基準表 A 238 条 2.1

分速 325m H50cm 以内 障害数 8 個以内

・第15競技 ジムカーナ競技

基準表 C クロスバー障害あり (巻乗りでも通過可)

9月30日(土) 馬場馬術競技

第16競技～18競技はインドアアリーナにて実施

第19競技                   メインアリーナにて実施

- ・第16競技 Japan Eventing JEF 第5課目 A 2022 (非公認)
- ・第17競技 Japan Eventing FEI 自由演技ヤングライダー馬場馬術課目 2006  
(2009年改定・2022年更新版) (非公認)
- ・第18競技 Japan Eventing JEF 第3課目 A 2022 (非公認)
- ・第19競技 Japan Eventing FEI 総合馬術競技1スター課目 2021 (馬場のみ)

10月1日(日) 障害飛越競技

以下、インドアアリーナにて実施

- ・第20競技 Japan Eventing トレーニングカップ障害飛越競技 F (非公認) 100cm  
ハンターシート  
分速 350m H100cm W120cm 以内 障害数 10個以内
- ・第21競技 Japan Eventing ビギナーズカップ障害飛越競技 F (非公認) 100cm  
基準表 A 238 条 2.1  
分速 350m H100cm W120cm 以内 障害数 10個以内
- ・第22競技 Japan Eventing トレーニングカップ障害飛越競技 F (非公認) 80cm  
ハンターシート  
分速 325m H80cm W100cm 以内 障害数 9個以内
- ・第23競技 Japan Eventing ビギナーズカップ障害飛越競技 F (非公認) 80cm  
基準表 A 238 条 2.1  
分速 325m H80cm W100cm 以内 障害数 9個以内
- ・第24競技 Japan Eventing キッズカップ障害飛越競技 F (非公認)  
60cm 基準表 A 238 条 2.1  
分速 325m H60cm W80cm 以内 障害数 8個以内
- ・第25競技 Japan Eventing キッズカップ障害飛越競技 F (非公認) クロス障  
害 基準表 A 238 条 2.1  
分速 325m H50cm 以内 障害数 8個以内

・第 26 競技 ジムカーナ競技 F  
基準表 C クロスバー障害あり (巻乗りでも通過可)

## 7. 参加資格

- 1 公認競技については、選手が申込時点において、日本馬術連盟の会員で騎乗者 B 級以上を有していること。馬匹についても申込時点において、日本馬術連盟の登録馬であること。
- 2 未成年者は保護者の承諾書を要する。
- 3 同一日における同一馬の出場は、EV90・EV80 のクラスは 2 回までとする。
- 4 同一クラスに同一人馬で参加した場合、2 回目に関してはオープン参加とする。(同一人馬でなければポイント獲得及び表彰の対象とする。)
- 5 障害飛越競技のみの参加に関しては、出場回数は制限しない。

## 8. 参加申込

**令和 5 年 9 月 8 日 (金)**までに、

- 参加申込書
- 入厩届

を NPO 法人 Japan Eventing へ E-mail にてお申し込みください。

振込先 NPO 法人 Japan Eventing

三菱 UFJ 銀行 江古田支店(店番号 190)

普通 0289268

お問い合わせ先 : [japan.eventing@gmail.com](mailto:japan.eventing@gmail.com)

〒112-0001

東京都文京区白山 5丁目 7-6 レジデンス Hara-Machi 1F

NPO 法人 Japan Eventing 事務局 山本 俊哉

TEL : 03-6902-2775

## 9. 参加料

- 1 日本馬術連盟総合公認競技 20,000 円 (第 1 競技～第 3 競技)
- 2 総合馬術非公認競技 15,000 円 (第 4 競技)
- 3 RRC総合馬術競技 20,000 円 (第 5 競技)
  
- 4 馬場馬術競技・障害飛越競技・クロスカントリー競技のみの場合  
10,000 円(第 6競技～第 26 競技)
- 5 登録料 (1 頭につき) 10,000 円

1 度納入された参加料・登録料は返却しない。

ただし、主催者の都合で競技種目を取り止めた場合はこの限りではない

#### 10. 順位の決定

1 3 種目の総合成績で順位を決定する。(第 5 競技は 2 種目の合計成績) 2 3 種目合計点が同点の場合は、クロスカントリーの成績の上位の選手を上位とする。さらに同点の場合は、クロスカントリーの既定タイムに近い選手を上位とする。

3 馬場馬術競技、障害飛越競技のみの順位決定は行わない。

4 審判の判断により、危険とみられる場合は走行を停止させる場合がある。

#### 11. 表彰

1. 各競技の 6 位までを入賞とし、入賞馬にリボン、副賞を贈る。

各種目の出場者が 50 人を超えた場合はグループ分けをし、各グループの上位 6 位までを入賞とする。

1 年間の JEF 公認総合馬術競技会の成績を総合して年間ランキングを作成し、上位者には賞品・賞状を授与する。

#### 12. 打合せ及び出場順の発表

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、打ち合わせ会は開催しない。連絡事項は、後日連絡する大会ホームページに掲載するので必ず参照のこと。2 エントリーの変更は、

大会前: Email: japan.eventing@gmail.com 宛に連絡もしくは馬場馬術競技前日、9 月 29 日(金)14 時まで大会事務局にて変更をお願いします。

**競技会前日の変更は 1 件につき 500 円(全選手共通)の変更手数料を徴収する。**

1 クロスカントリーに参加する騎乗者の服装・馬装は国際馬術連盟総合馬術競技会規程に記載の通りとし、バックガードの着用を義務づける。

2 馬に騎乗する場合は、いかなる場合でも必ず 3 点以上の固定式顎紐付乗馬用防護帽を着用すること。選手以外が騎乗する場合も同様とする。

3 参加馬匹は健康検査及び JEF 予防接種実施要領を規程通り実施していること。4 選手等の宿舎は各自手配し、経費は各自負担とする。

5 参加馬の厩舎は主催者が準備する。

6 厩舎での火器の使用及び喫煙は一切禁止とする。

7 馬の輸送費は補助しない。

8 馬糧は各自にて持参すること。退厩の際は全て持ち帰ること。敷料については、おが粉とし、会場で用意する。また厩舎及び周辺を清掃し、ゴミ等は一切残さないこと。

9 施設の利用に関しては、それぞれ開催場所の施設利用心得を厳守すること。

10 期間中の人馬の事故等に対しては、主催者への連絡をもって応急処置を行うが、その責めは負わない。

11 参加者は何らかの傷害保険に加入し、健康保険証またはコピーを持参すること。

12 参加選手は野外騎乗中、必ず自身のメディカルカードを外から見えるところに携帯して走行すること。

13 参加申込が少数の場合は、競技及び種目を中止することがある。

## 別紙①

### NPO 法人 Japan Eventing 総合馬術ホーストライアルルール

NPO 法人 Japan Eventing 主催の総合馬術ホーストライアルシリーズでは、人馬にクロスカントリー走行の経験を積んでもらうため、以下のルールを適用いたします

#### ● クロスカントリー走行中の「パス」について:

走行中、選手は、フェンスジャッジに対して「パス」を宣言することにより、障害を飛越せずに走行を継続し、次の障害に向かうことができる。走行中の「パス」の回数は問わないが、その都度宣言する必要がある。成績上は「棄権(R)」の扱いとなる。**※2023年より EV100クラス以上でのクラス出場での走行中のパスはなしとします。**

#### ● クロスカントリー走行中通算での3反抗失権後の走行継続(同一障害での3反抗を除く):

選手は、通算での 3 反抗失権後も走行を継続することができる。成績上は「失権(E)」の扱いとなる。

ただし、同一障害で 3 回の反抗があった場合は認めない。

走行継続可能な例:

ある障害で 2 回の反抗の後に通過し、別の障害で 2 回の反抗後、「パス」を宣言して次の障害へ向かうことは認められる

走行継続が認められない例:

- (1) ある障害で 3 回の反抗があった場合、パスを宣言して走行を継続することはできない
- (2) 落馬および人馬転での失権
- (3) 経路違反での失権
- (4) 危険な騎乗によって走行を止められた場合



日本中央競馬会  
特別振興資金助成事業

別紙②

【参加者用】

## RRC (Retired Racehorse Cup) 総合馬術競技実施要項 令和5年版

2023.01.25

公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会

『RRC』とは、Retired Racehorse Cup の略であり、引退競走馬杯と名付けた競技である。競走馬登録されていたサラブレッドが引退し、リトレーニング後に乗用馬として用途変更した際、以下の条件を満たしている場合に出場できる馬術競技である。

目的： 引退競走馬のセカンドキャリアとして、乗馬・馬術競技は従来から最も活躍してきた場であり、その競技で好成績を収めた引退競走馬を表彰することにより、国民に馴染み深い競走馬の引退後の活躍を広く紹介することともに、乗馬、馬術の魅力を発信し乗馬のさらなる認知、乗馬人口の増大に繋げる。

また、本協会の本来の目的である、乗馬普及・底辺拡大をさらに推進すべく、大人しくて乗りやすい乗用馬資源の創生を目標とし、引退競走馬のリトレーニング技術の向上と馬に関わる人材育成のために「奨励金」等を交付する。

以上のとおり、引退競走馬のセカンドキャリアの形成の第一歩が同事業を通じて直接的に乗馬・馬術への入り口として定着することを目的として実施する。

### 1. 出場馬の条件

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルに血統登録（内国産、外国産を問わず）され、日本中央競馬会、地方競馬全国協会の競走馬として最終レースを令和2（2020）年1月1日以降の出走歴を持つ3歳以上の馬とする。また、未出走馬は年齢が3歳以上7歳以下とし、年齢は馬年齢（1月1日）を適応する。マイクロチップ等を用いた個体識別を行う。

競走馬として出走を終えた若いサラブレッドが出場するので、馬のウェルフェア（FEI馬のスポーツ憲章）に十分配慮すること。特に、最終出走からエントリーまでは、馬体のケアやリトレーニングのために適正な期間を設ける等の配慮をすること。

各大会とも1種目に1頭の馬が複数回出場することはできない。また、一般観戦者等に競技について理解しやすくするためオープン参加（表彰対象外の出場）は認めない。

### 【各大会優勝馬等の参加条件・総合馬術競技】

同年の RRC 総合馬術競技で優勝した馬匹は、他（複数）の大会に出場する場合は奨励金対象からは除外し、SS 賞（サティスファクトリースタANDARD）のみ対象とする。ただし、他競技（RRC 馬場馬術競技・RRC 障害馬術競技・RRC ファイナル競技）の出場は可とする。

各大会で SS 賞を獲得した馬のみ馬事公苑大会への出場ができる。

## 2. 競技大会および競技種目

令和 5 年に開催される馬術競技大会の中で競走馬のみで構成される以下の総合馬術競技とする。

下記の通り、総合馬術競技に関しては各 5 大会を実施する。

競技は、日本馬術連盟（以下 J.E.F. という）競技会関連規程集（最新版）を準用する。

### 《馬場馬術競技》

全国乗馬倶楽部振興協会制定「NRCA 総合馬術課目 2023（別添）」を採用し、審判員は 3 名とする。

### 《クロスカントリー競技》

全長 1,500m 以内、障害飛越数 15～20 個、分速 400m、

高さ：固定障害 60cm 以内、ブラシ障害 80cm 以内、飛び降り 80cm 以内

幅：最高部 100cm 以内、土台 110cm 以内、高さのない障害 80cm 以内

### 《障害馬術競技》

85cm クラス

10 障害 11 飛越、分速 350m、高さ 85cm、幅 105cm（三段障害は 125cm）とする。

障害物のプランク等の使用は、全障害物数の 50%までとする。なお、コンビネーション障害は横木のみで構成すること。

※競技ルールは、競技進行上、変更する場合もある。

### 《インスペクション》

FEI ルールに則り、馬場馬術競技前またはクロスカントリー競技走行終了後に必ず実施すること。

## 3. 開催会場及び日程

一覧表参照

## 4. 出場者

① 以下の資格または同等の技量を有する者とし、安全には十分留意して、参加団体及び馬の所有者（出場申込用紙に記入）が推薦する者。

- ・本協会 乗馬指導者資格
- ・本協会 乗馬技能認定 1 級以上

- ・ J.E.F. 騎乗者資格 B 級以上
- ・ 全日本学生馬術連盟騎乗者資格 SA 級
- ・ 全日本高等学校馬術連盟騎乗者資格 HB 級
- ・ 日本社会人団体馬術連盟騎乗者資格 A グレード
- ・ 日本乗馬少年団連盟 騎乗者資格中級以上

② 申し込みと同時に選手及び出場馬は、肖像権の使用に同意したとみなす。

## 5. 出場料

1 回 ¥20,000 各主催者に支払う。(馬匹登録料等は各主催者の実施要項に基づく)

## 6. 奨励金

- ・ 総額 80 万円 (優勝 20 万、2 位 15 万、3 位 12 万、4 位 10 万、5 位 8 万、6 位 5 万、7 位 4 万、8 位 3 万、9 位 2 万、10 位 1 万)
- ・ 馬場馬術 60.000%以上、クロスカントリー減点 0、障害馬術減点 8 以内で走行した人馬に SS 賞 6 万円 (一時主催者立替え金)

## 7. 表彰

1 位から 10 位までを入賞とし、大会主催者より各奨励金を交付する。

また、1 位から 3 位までにリボン (タスキ) を授与する。また SS 賞を贈る。

表彰式は人馬による表彰式を行う (推奨)。

## 8. 申し込み等

別に定める「RRC (引退競走馬杯) 出場申込用紙」と各主催者の実施要項に基づいて必要な書類を指定された期日までに大会主催者へ提出すること。

## 9. その他

- ① 競技会を撮影した動画、画像をホームページ等で放映する。
- ② 競技開始前までにマイクロチップ等を利用して馬の個体識別を行うので、必ずマイクロチップ番号 (馬の健康手帳の表紙の裏に記載されている) を申込時に記載すること。
- ③ 失権及び途中棄権した人馬には奨励金は交付しない。
- ④ 奨励金と SS 賞の交付およびリボン (タスキ) の授与は、各大会主催者から、該当馬の所有者に対して交付する。
- ⑤ 競技終了後に出場馬の要件を満たしていないこと等が判明した場合は、奨励金等を返納し、以下順位を繰り上げて表彰する。
- ⑥ 競技開催日の 5 日前に本協会のホームページ上で出場順を公式発表する。それ以降の人馬の追加、変更は一切受け付けない (棄権のみ)。
- ⑦ この奨励金は、JRA 日本中央競馬会の競馬振興特別助成金により実施する。



RRC 総合馬術競技 2023 実施予定

2023.01.23 現在

《総合馬術競技》

No	開催日	大会名	会場	競技会名
1	6月9日(金) ～11日(日)	山梨	山梨県馬術競技場	RRC 3Day Event in 山梨
2	9月30日(土) ～10月1日(日)	兵庫	三木ホースランドパーク	ホーストライアル
3	10月7日(土) ～9日(月祝)	茨城	中島トニアシュタール	NTS 馬術大会
4	11月18日(土) ～19日(日)	福島	南相馬市馬事公苑	イベントィングフェスティバル(仮)
5	12月16日(土) ～17日(日)	東京	JRA 馬事公苑	RRC 馬事公苑大会

※上記日程および会場は、新型コロナウイルス感染症等の影響により変更する場合があります。